

ほうれんそう

《新・尼崎の本棚 149》

尼崎市立北図書館

尼崎市南武庫之荘3-21-21

TEL (06) 6438-7322

FAX (06) 6438-7344

<https://www.amagasaki-library.jp/>

おはなしボランティア

尼崎市立中央図書館と北図書館では、5つのおはなしボランティアグループが読み聞かせ活動に携わっています。図書館と連携し、市内の生涯学習プラザ・幼稚園・小学校等でおはなし会を開催するほか、読み聞かせボランティア養成講座の講師を務めるなど、子どもたちに絵本やおはなしの楽しさ、素晴らしさを届けています。

北図書館では、「北図書館ボランティア ひまわりの会」の皆さんが活動しています。「ひまわりの会」は1979(昭和54)年の北図書館開館と同時に設立されました。以来、毎月第1・第2・第3土曜日に行われるおはなし会や、春と秋の大型紙芝居の上演など様々な活動をしています。また、小学校へのおはなし配達や子どもクラブでのおはなし会など、本の魅力を伝える活動を続けています。こうした長年の功績が認められ、2024年度には、「ボランティア功労者厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

人に本を読んでもらうことは、子どもたちがおはなしの世界に入り込み、情景や登場人物を思い描きながら楽しむ手助けとなります。そうした楽しい時間が本に親しむきっかけになることを願い、読み手たちは今日も本棚から宝探しをするようにおもしろい本を見つけては練習を重ねています。

【参考文献と関連本】

『お話とは』 松岡享子／著 東京子ども図書館 221754955

『おはなしの届け方』 尼崎の子どもたちにおはなしを届ける会／編集・出版 221077001

『子どもを育てる0・1・2歳児にぴったりの絵本』 児玉 ひろ美／著 小学館 222030254

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
⑤	6	7	8	9	10	11
⑫	13	14	15	16	17	18
⑰	⑳	21	22	23	24	25
㉖	27	28	29	30	31	

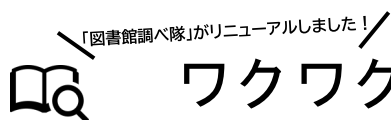
8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	3	4	5	6	7	8
⑨	10	⑪	12	13	14	15
⑰	17	18	19	20	21	22
⑳	23	24	25	26	27	28
㉓	29					
⑳	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	㉑	㉒	㉓	24	25	26
㉗	28	29	30			

7月・8月は最終木曜日も開館します



ワクワクドキドキ調べてみよう！



【コース】①チャレンジコース ②スタートコース

【日時】①7月18日(土) ②7月25日(土) 午前9時30分～11時30分

【場所】3階集会室

【対象】①市内在住の小学3～6年生

②市内在住の小学1～3年生(1・2年生は保護者同伴)

【定員】各回、先着10人

【申込】6月26日(金)から北図書館カウンター、または電話にてお申し込みください

自分の興味のあるテーマについて調べた作品を作って、「図書館を使った調べる学習コンクール」に応募しよう！

チャレンジコース…自分の疑問をじっくり調べたい人にオススメ。並び方、百科事典の使い方、調べてわかったことのまとめ方について学べます。参加した後は、夏休み中に図書館員が皆さんの研究をサポートします。

スタートコース…初めて自由研究や調べる学習をする人にオススメ。一つの作品を作りながら自分の疑問をどのように調べるか、楽しく学びましょう！

今年もやります！読書ジョギング



【期間】7月18日(土)～8月30日(日)

【対象】自分で読めるひと～小学生

読書ジョギングシートをもらって、図書館で借りた本を記録してみよう！夏休み中に何冊読めるかチャレンジ！100冊または1万ページ読めたら賞状と賞品がもらえます。

読書ジョギングシートは、北図書館の1階カウンターで受け取ってください。



こわいはなし大会



【日時】8月1日(土) 午後2時～3時

【場所】3階集会室

【対象】どなたでも

【定員】先着70人

【申込】不要

部屋を暗くし、ろうそくの灯りだけで百物語のように、こわいはなしの語りきかせ(ストーリーテリング)をします。

話し手は、ボランティアグループ ひまわりの会さんです。

※大人の方のみでもご参加いただけます。



<7月展示のご案内>

◎1階 一般大展示 「涼くなる本」

◎2階 参考展示 「植物の世界」



大人のための朗読会

【日時】 7月15日(水) 午後2時から1時間ほど

【場所】 3階 集会室

【内容】 『カフェーの帰り道』より
「嘘つき美登里」 嶋津 輝/著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※状況により、内容の変更・中止になる場合があります。

人を読む 長田弘

<おさだ ひろし>1939~2015年。福島県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。『私の二十世紀書店』で毎日出版文化賞受賞。ほかの著作でも多くの文学賞を受賞。

『世界は一冊の本』

長田 弘[著]/晶文社

“人生という本を、人は胸に抱いている。一個の人間は一冊の本なのだ”。本を読もう。もっと本を読もう。もっともっと本を読もう。逝った人々、世を去った旧師・父・友人たちへの想い、「生きるということ」を簡潔な言葉で綴った、心にしみる詩集。

『風のことば空のことば』

長田 弘[詩]・いせ ひでこ [絵]
/講談社

「わたしの色」をじぶんで決められるなら、きみは何色にする？(いろ [色] より)。抜粋した詩に、項目をつけて辞典のようにした、絵本の雰囲気も持った詩集。読売新聞「こどもの詩」の選者を務めた長田弘が、選んだ詩に添えた選評をもとに構成された一冊。

『感受性の領分』

長田 弘[著]/岩波書店

街歩き、川沿いの道や土の道を歩く。美術館へ絵を見に行く……。 「読む」「書く」「考える」の三章で綴られる、身の回りのありふれた日常の中にある諸々のこと、作家や書物について。著者の言葉で語られる珠玉のエッセイ。

『帽子から電話です』

長田 弘 [作]・長 新太 [絵]
/偕成社

ぼくが留守番していると、電話が鳴った。でてみると、なんとお父さんがコーヒー屋に忘れてきた「帽子」からだった。次の日、戻ってきた帽子はひとことも喋らない。でもまたお父さんは帽子をどこかに忘れてきてしまって……。不思議な帽子のお話。【小学3~4年生】

早稲田大学在学中に詩を書き始め、1965年のデビュー以降は、詩集だけでなくエッセイ・絵本なども出版している。詩人として長く活躍していたが、2015年に逝去。著書に『見よ旅人よ』『詩人であること』『われらの星からの贈物』『森の絵本』『私の好きな孤独』『なつかしい時間』などがある。

児童室

おはなし会



第1・第2・第3 土曜日 場所:3階集会室

おひざ (0~2歳くらい) 午後2:00~
 小さい人 (3~5歳くらい) 午後2:15~
 大きい人 (小学校低学年) 午後2:40~

7/4(土)

●おひざのうえ

「おーいおーい」
 「どおーこだどこだ?」

○小さい人

「すいかくんがね...」
 「ねことねずみ」

◎大きい人

「はかせのふしぎなプール」
 「カメのこうらは、ひびだらけ」

7/11(土)

●おひざのうえ

「ちゃがちゃがぷーん」
 「けんけんぱつ」

○小さい人

「なつのいちにち」
 「ひなどりとネコ」

◎大きい人

「歯いしゃのチュー先生」
 「天満のとらやん」

7/18(土)

●おひざのうえ

「おててがでたよ」
 「おしくら・まんじゅう」

○小さい人

「おてがみ」
 「三びきのやぎのがらがらどん」

◎大きい人

「ま、いっか!」
 「おなかのかわ」



第1・第3 水曜日

あかちゃんひろば

場所: 3階集会室

7/1(水)、7/15(水)

午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと保護者向け
 赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど



第2・第4 日曜日

場所:1階ロビー 2歳くらいから

7/12(日)、7/26(日)

午前11:00~11:20

季節の絵本や紙芝居など

※状況により場所が変わる場合があります

7月



日	月	火	水	木	金	土
			1 🐰	2	3	4 🐶
5 🐱	6	7	8 🐰	9	10	11 🐶
12 🐱	13	14	15 🐰	16	17	18 🐶
19 🐱	20 🐱	21	22	23	24	25
26 🐱	27	28	29	30	31	

☐ 日・祝日は午後5時15分まで